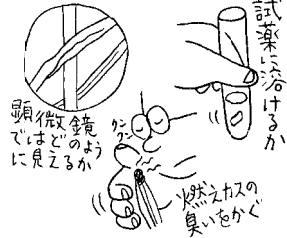


混用率の測定



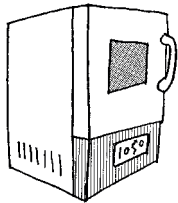
混用率の測定試験について解説します。

① 鑑別



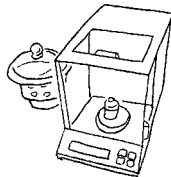
最初に繊維の鑑別を行います。
(綿とポリエステル混用品)

⑪



洗浄後、④の乾燥機で乾燥
します。

⑫

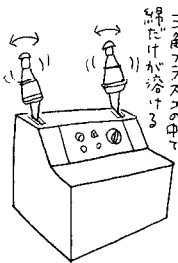


⑤と同じように秤量ビンと
一緒に試料の重さを測ります。

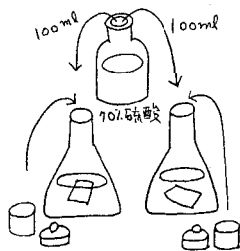
⑧



⑨ 溶解



振とう機で10分間激しく
振とうします。



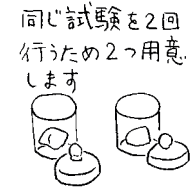
三角フラスコに試料と100ml
70%硫酸を入れます。

② 前処理



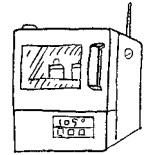
鑑別が終わったら約2gの試料
を前処理して加工剤等の付着物
を除去します。

③



前処理が終わったら各1g
ずつに分けて、試料を秤量
ビンに入れます。

④ 絶乾



105℃の熱風乾燥機の中で
水分をすべて蒸発させます。

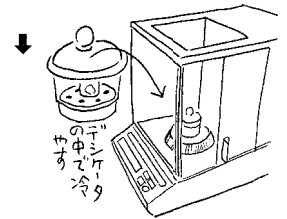
⑬ 計算

乾燥した質量ではなく繊維が水分を含んだ時の質量に
してから百分率比を求めます。

例)ポリエステルの乾燥時の質量は⑫で求められます。
綿の質量は⑤-⑫の質量で求められます。

	ポリエステル	綿
乾燥時の質量	0.7523g	0.3235g
JISで決められた水分率	0.4%	8.5%
水分だけの質量	0.0030g	0.0275g
水分を加えた質量	0.7553g	0.3510g
混用率	68.3%	31.7%

⑤



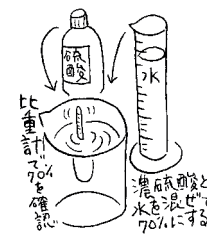
乾燥後、試料を秤量ビンに
入れたまま質量を測定します。

⑦



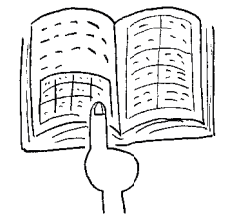
振とうした後の試料を新しい
70%硫酸液、水、アンモニア水、
水で順次洗浄します。

⑦



次に試薬を調整します。
(70%硫酸)

⑥



JISにより試験方法を選択
します。



今回の試料は綿と
ポリエステルの混用なので、
70%硫酸液で綿のみを
溶解し、ポリエステルを
残します。